



令和8年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 経済産業大臣表彰

知財活用企業(特許)

東レ株式会社

代表取締役社長 大矢 光雄

企業概要

<https://www.toray.co.jp/>

所在地：東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー

設立：1926年

資本金：147,873百万円

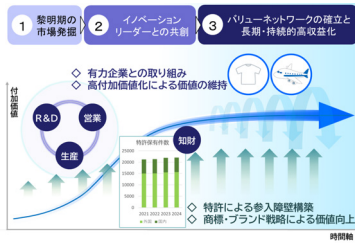
従業員：7,010人

事業概要：繊維、機能化成品（樹脂、フィルム、電子情報材料等）、炭素繊維複合材料、環境・エンジニアリング（水処理機能膜等）、ライフサイエンス（医薬品等）、その他分野における各製品の製造・加工および販売

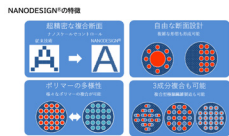


受賞のポイント

- ①長年培った有機合成化学等のコア技術や「極限追求」を基に、多くの先端材料、高付加価値製品を開発。多数の特許権からなる特許網により圧倒的な参入障壁を構築する一方、競合が追従困難な高い機能を付加し続けることで、長期にわたって付加価値を高め続けて高収益化を図る、価値創出モデルを実現。
- ②独自技術をブランドで見える化し、技術力と技術優位性を広く社会や市場に対し効果的にアピールする「技術ブランド」戦略を推進。その一例として、ナノレベルの細かさで複雑な形状に成形された合成繊維を組み合わせ、繊維に様々な機能を持たせる技術をNANODESIGN®としてブランド化。ユニクロとの協業により高機能衣料を提供し、技術ブランドの価値を創出。
- ③技術部長クラスが特許責任者として部署の垣根を越えて担当領域における特許案件の総責任者の役割を担い、知的財産部からの専門的見解を得て、出願・権利化、防衛、権利活用の活動を推進する「特許責任体制」を構築。知財情報は、①他者への権利行使、②顧客への営業活動、③戦略的なプライシング、④他者との連携に有効であると整理し、事業活動に知財を活用するべく、社内の知財マインド向上に貢献。



東レ価値創出モデル



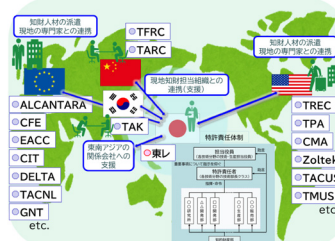
有力企業との取り組み事例
（株式会社ユニクロ）「ポケットブルUVカットパーカ」NANODESIGN®には、NANODESIGN®特許を適用した生地が採用されており、機能性が向上し、UVや汚れに強い衣料の提供を実現しています。



(株)ユニクロの「ポケットブルUVカットパーカ」
／NANODESIGN®

革新複合糸技術 Nanodesign® <small>特許登録第644015号 他</small> 繊維製造過程でポリマーの流れを何度も分割、細かな流れを精密に制御し、最大で数万分の1の細さにすることが可能。繊維断面形状も自由に設計、電気のワットも利用でき、従来にない特殊断面形状を表現。 https://www.nanodesign.toray/	微細構造制御技術 Nanoalloy® <small>特許登録第5816758号（動きの商標） 他</small> 複数のポリマーをナノレベルで分散・混練し、柔軟性や靱性、衝撃吸収 性等の特性を従来にないレベルで向上。ポリマー材料の両面での高機能化・高機能化を実現。 https://www.nanoalloy.toray/
--	---

技術ブランド「NANODESIGN®」および「NANOALLOY®」



特許責任体制